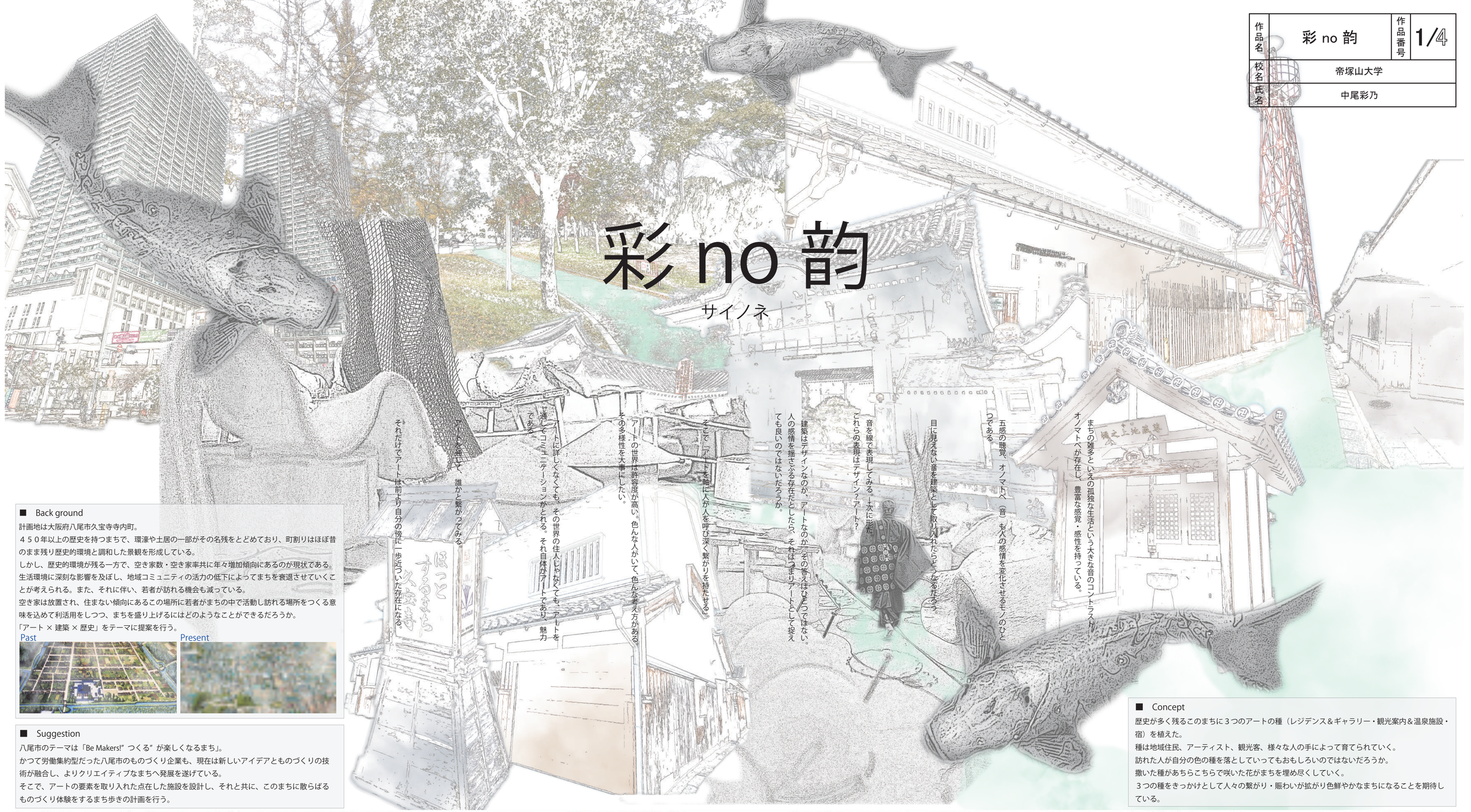
作品名	彩 no 韵	作品番号	1/4
校名	帝塚山大学		
氏名	中尾彩乃		

彩 no 韵

サイノネ



まちの雑多といえの孤独な生活という大きな音のコントラスト。
オノマトペが存在し、豊富な感覚・感性を持っている。

五感の聴覚、オノマトペ（音）も人の感情を変化させるモノのひとつである。

目に見えない音を建築として取り入れたらどうなるだろう。

音を線で表現してみる。一次に形だ。
これらの表現はデザイン？アート？

建築はデザインなのか、アートなのか、その答えはひとつではない。
人の感情を揺さぶる存在だとしたら、それはつまりアートとして捉えても良いのではないだろうか。

そこで、アートを軸に人が人を呼び深く繋がりを持たせる。
アートの世界は許容度が高い。色んな人がいて、色んな考え方がある。
その多様性を大事にしたい。

アートに詳しくなくても。その世界の住人じゃなくても、アートを通じてコミュニケーションがとれる。それ自体がアートであり、魅力である。

アートを通して、誰かと繋がってみる。
それだけでアートは前より自分の傍に一歩近づいた存在になる。

■ Back ground

計画地は大阪府八尾市久宝寺寺内町。
４５０年以上の歴史を持つまちで、環濠や土居の一部がその名残をとどめており、町割りはほぼ昔のまま残り歴史的環境と調和した景観を形成している。
しかし、歴史的環境が残る一方で、空き家数・空き家率共に年々増加傾向にあるのが現状である。
生活環境に深刻な影響を及ぼし、地域コミュニティの活力の低下によってまちを衰退させていくことが考えられる。また、それに伴い、若者が訪れる機会も減っている。
空き家は放置され、住まない傾向にあるこの場所に若者がまちの中で活動し訪れる場所をつくる意味を込めて利活用をしつつ、まちを盛り上げるにはどのようなことができるだろうか。
「アート × 建築 × 歴史」をテーマに提案を行う。

Past

Present

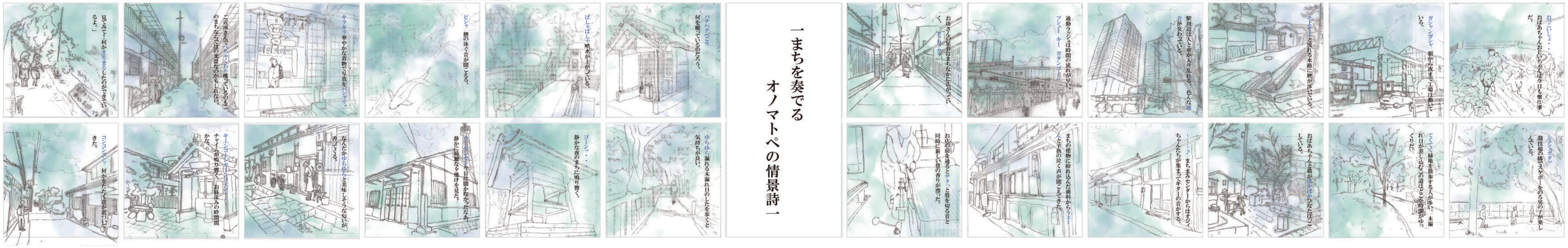
■ Suggestion

八尾市のテーマは「Be Makers!” つくる” が楽しくなるまち」。
かつて労働集約型だった八尾市のものづくり企業も、現在は新しいアイデアとものづくりの技術が融合し、よりクリエイティブなまちへ発展を遂げている。
そこで、アートの要素を取り入れた点在した施設を設計し、それと共に、このまちに散らばるものづくり体験をするまち歩きの計画を行う。

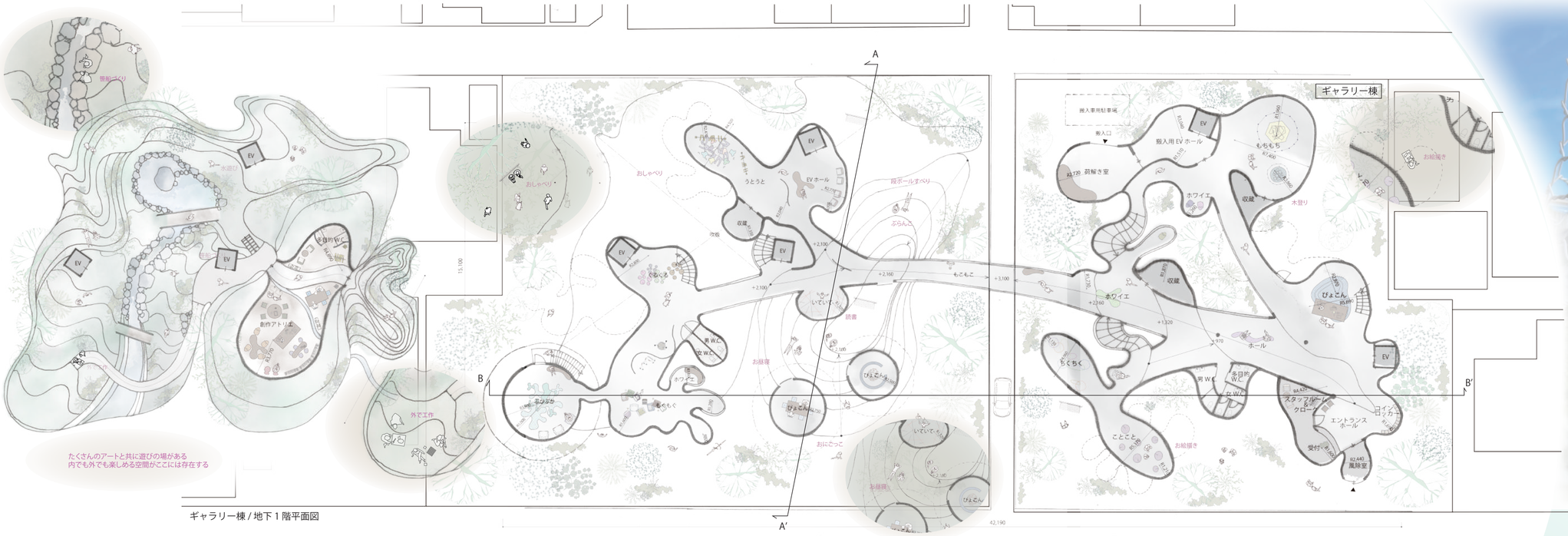
■ Concept

歴史が多く残るこのまちに３つのアートの種（レジデンス＆ギャラリー・観光案内＆温泉施設・宿）を植えた。
種は地域住民、アーティスト、観光客、様々な人の手によって育てられていく。
訪れた人が自分の色の種を落としていってもおもしろいのではないだろうか。
撒いた種があちらこちらで咲いた花がまちを埋め尽くしていく。
３つの種をきっかけとして人々の繋がり・賑わいが拡がり色鮮やかなまちになることを期待している。

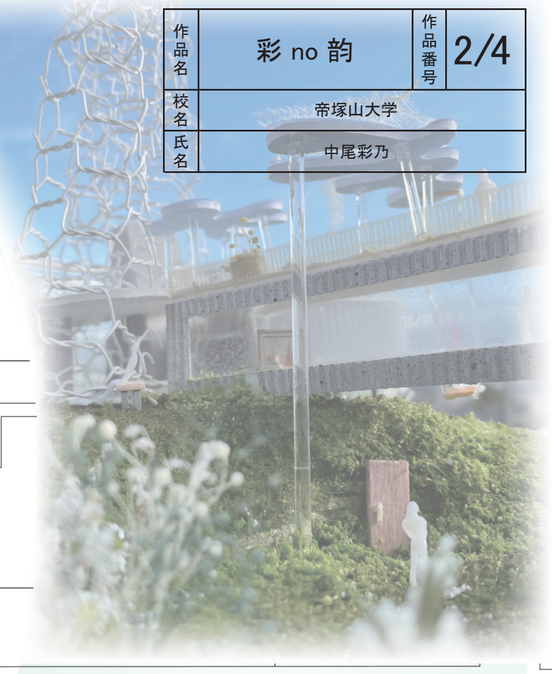
一 まちを奏でる オノマトペの情景詩 一



作品名	彩 no 韵	作品番号	2/4
校名	帝塚山大学		
氏名	中尾彩乃		



ギャラリー棟 / 地下 1 階平面図

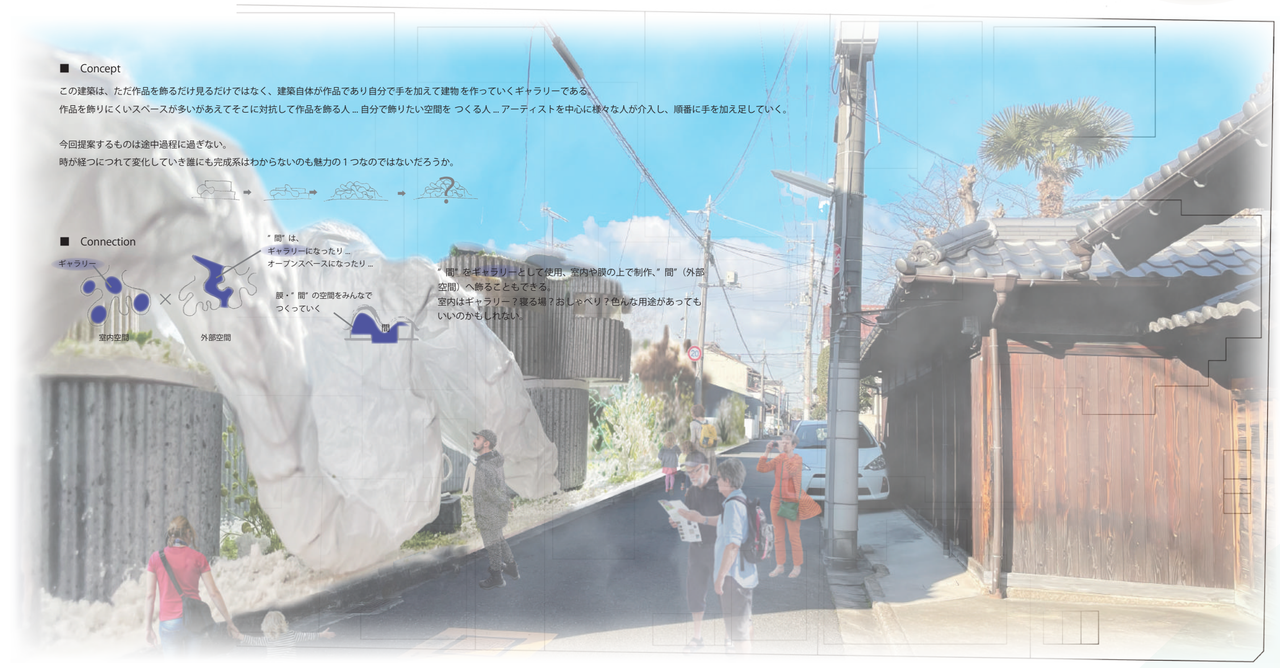


■ Concept

この建築は、ただ作品を飾るだけ見るだけではなく、建築自体が作品であり自分で手を加えて建物を作っていくギャラリーである。
作品を飾りにくいスペースが多いがあえてそこに対抗して作品を飾る人 … 自分で飾りたい空間を つくる人 … アーティストを中心に様々な人が介入し、順番に手を加え足していく。

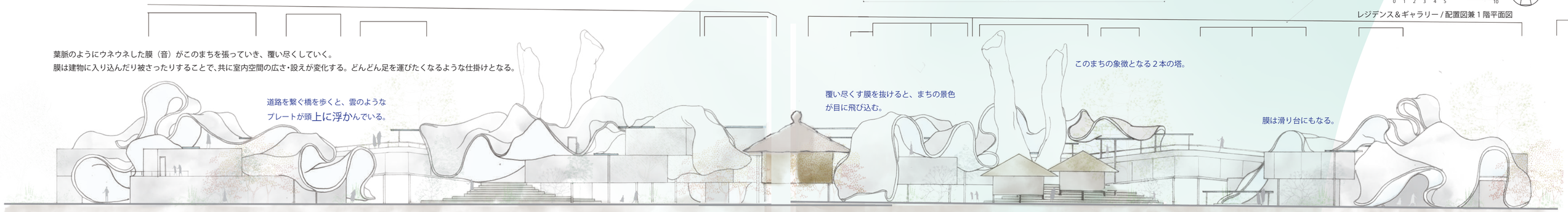
今回提案するものは途中過程に過ぎない。
時が経つにつれて変化していき誰にも完成系はわからないのも魅力の 1 つなのではないだろうか。

■ Connection

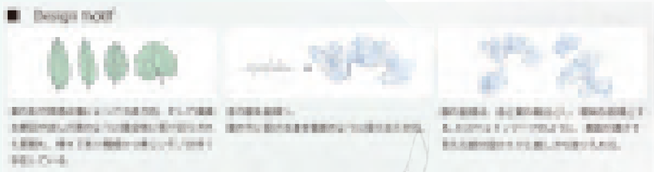


レジデンス＆ギャラリー / 配置図兼 1 階平面図

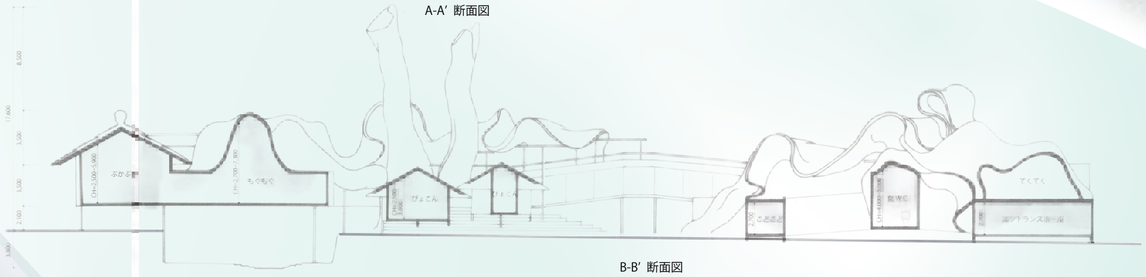
葉脈のようにウネウネした膜（音）がこのまちを張っていき、覆い尽くしていく。
膜は建物に入り込んだり被さったりすることで、共に室内空間の広さ・設えが変化する。どんどん足を運びたくなるような仕掛けとなる。



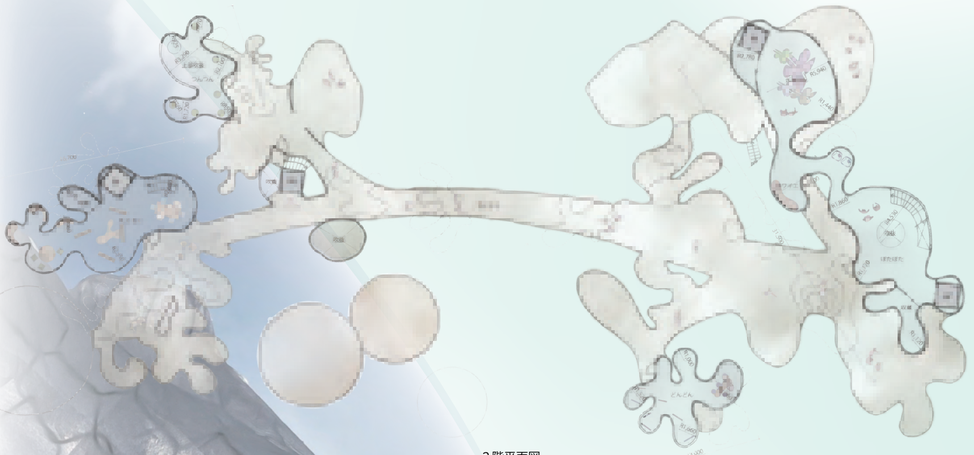
作品名	彩 no 韵	作品番号	3/4
校名	帝塚山大学		
氏名	中尾彩乃		



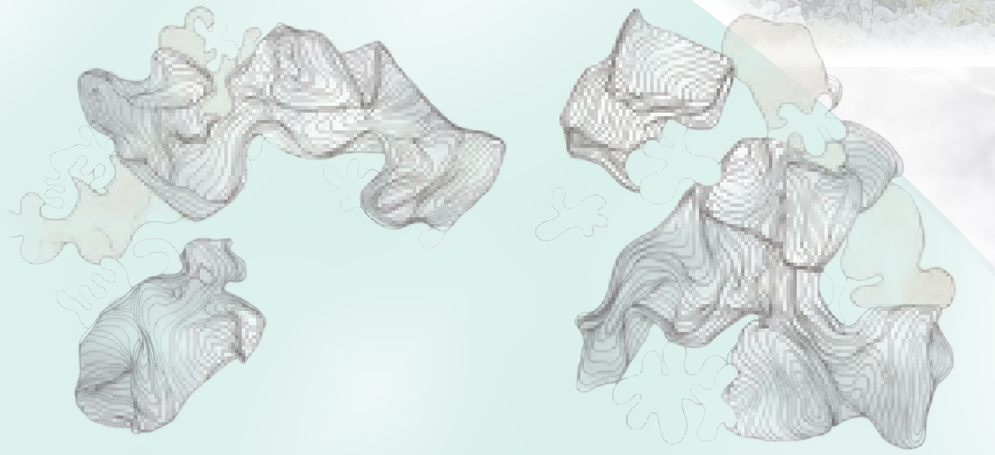
A-A' 断面図



B-B' 断面図



2階平面図

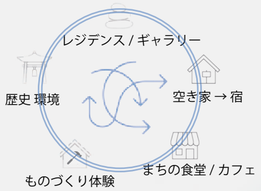


屋根伏図

作品名	彩 no 韵	作品番号	4/4
校名	帝塚山大学		
氏名	中尾彩乃		

■ Town = One facility

地域全体がひとつの建物となり、アートインレジデンスを中心に周辺に点在する空き家は各所に機能をもち、道は建物でいう廊下にあたる。



■ Phase / Area management

まち歩きとオーバーラップさせることで、まちそのものがひとつのテーマの中で活動できる場所にし、周辺エリアへの価値向上に結びつけ、エリアマネジメント効果に繋ぐことを目的とする。

→アートインレジデンス・ギャラリーを主とし今回提案する施設をきっ　かけに、まち全体へ賑わいが伝染することを期待する。

これまでは歴史跡だけを見てまわるまち歩きだったが、
観光案内所から始まり、歴史的建物などの歴史を見て、アートインレジデンスでアートに触れる。
次にまちのものづくり体験を楽しみ、温泉施設で体を癒して、５つの宿から好きなのを選択し、１日を終える。
歴史にアートを絡めた新しいまち歩きの提案を行う。

11:00- 観光案内所

計画地：観光案内＆温泉施設

インフォメーション

11:30- 歴史跡巡り

緑道
通り
まちなみセンター
顕証寺

白壁やむしこ窓、基盤の目のような路地などを伝統的な
町並みがいにしえの風情を偲ばせている。
町家も江時代から戦後のものまで様々な時代のものが残っており、それぞれ
特徴のある様式を見ることができる。

まちのレストラン

12:30- まちのレストラン

14:00- レジデンス＆ギャラリー

計画地：レジデンス＆ギャラリー

レジデンス・ギャラリー

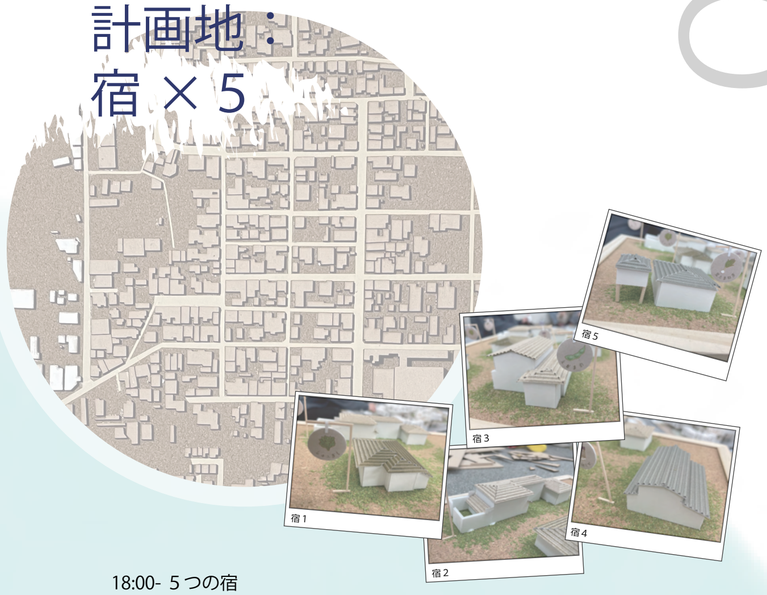
高度な技術力と製品開発力を誇る企業が集まる「ものづくりのまち」で様々なものづくり体験を体験することができる。
ここではテーマ「アート」に基づいた体験をまちコインで利用したり、獲得したりできる。
各所にある体験から興味あるものを選び、ものづくりを自由に楽しむことができる。

16:00- まちのものづくり体験

17:30- 温泉施設

温泉施設

計画地：宿 × 5



18:00- ５つの宿

■ Suggestion

八尾市のテーマは「Be Makers!” つくる” が楽しくなるまち」。
かつて労働集約型だったものづくり企業も、現在は新しいアイデアとものづくりの技術が融合し、よりクリエイティブなまちへ発展を遂げている。そこでここ寺内町に「アート」のテーマを提案する。

OSAKA NPO MAP